

堅実な介護を実現する

2013.10.18 大阪

参加者・アンケート回答者 30人

講演

1新たに学んだこと

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| (15)オーナーシップの大切さ | (3)意見を言うことは責任をもつこと |
| (14)ブレインストーミングの四原則 | (3)失敗を恐れてはいけない |
| (12)ブレインライティング | (1)後継者育成の重要性 |
| (9)アイデアを得ること | (1)旭山動物園の実例 |
| (9)何が問題かを考え、解決できる内容に直す | (1)考えることの大切さ |
| (8)創造的問題解決、創造的問題解決のポイント | |

2印象に残ったこと

問題設定と解決に配分する時間
目標を紐解き、実行可能なところから取り組む。
オーナーシップ、自分たちの問題であると共感を得ること。(5)
意見を出してもらうことで責任が生まれる。(2)
1つの意見に対して必ず反論者が出てくるがそれは自分の力を証明しようとしているもの
ブレインライティングであまり発言しない人の意見も吸い上げられる。
初対面者とのグループワーク
難しかったが、ブレインライティングにより新たな意見が出て解決策が導き出せる。(4)
ブレインライティングで間違いを恐れずにアイデアを出し合い、他人のアイデアを改良するのも可
というのも良かった。
職場の問題を共通にすることが大切であり、集団を強くする(2)
堅実な介護にはいいアイデアが必要であり、それが利用者の満足度を上げることに繋がる。
職場で何が求められているのかということが分かり良かった。
時間的な制約で最後のあたりが駆け足になったのは残念だった。

3職場で抱えている問題解決に役立つか

(全く役に立たない) 1 (0) 2 (0) 3 (5) 4 (18) 5 (7) (非常に役立つ)

4内容レベル

(非常に易しかった) 1 (0) 2 (6) 3 (11) 4 (12) 5 (1) (非常に難しかった)

5新たなまなびや取り組みを開始しようと思いませんか

(全く思わない) 1 (0) 2 (0) 3 (4) 4 (18) 5 (8) (とても思う)

要望・気づいたこと

問題へのオーナーシップが重要であることはよく分かったが、でき上っている職場で声を出すことは
勇気が必要なことだと思う。
とても分かりやすく、すぐに職場で実践できるものだった。(2)
自分自身を含めて、問題をオーナーシップとして捉えていなかったのではと新たな気づきになった。
オーナーシップでその問題を自分のものとして捉える事。人任せでは駄目。
ブレインストーミングの四原則でアイデアの判断延期、自由奔放を若者の養成教育に活かしたい。
質問が具体性に乏しく(認知症のことなど)答えにくかった。

創造的問題解決ワークショップ

1創造的問題解決の必要性の理解

(全く分からない) 1 (0) 2 (1) 3 (5) 4 (13) 5 (11) (非常によく分かった)

2目標・願い・挑戦/問題設定方法の理解

(全く分からない) 1 (1) 2 (2) 3 (5) 4 (13) 5 (9) (非常によく分かった)

3ブレインライティングの実施方法・アイデアの集約方法の理解

(全く分からない) 1 (0) 2 (0) 3 (4) 4 (12) 5 (14) (非常によく分かった)

4職場の人間関係の改善・新人の成長促進に役立つか

(全く役に立たない) 1 (0) 2 (0) 3 (2) 4 (18) 5 (10) (非常に役立つ)

要望・気づいたこと

もう少しグループワークをしたかった。

みんなの考えアイデアを自由に出してもらうことが重要だと思っていましたが、どうしたら出してもらえるか困っていた。本日のワークショップはとても役に立った。最後の演習は本当に良かった。

このように会議でどの人にも意見を出してもらうようにすれば、今よりもっと活気ある職場になるのではと思う。多くの具体的アイデアから最終的に五つに絞る時にアドバイスがあると実際現場で活用する時に説明しやすい

って
た。
い。